

標準的治療困難例に対する治療法の確立に関する研究班  
**1b high 症例 (N=353)におけるリバビリンの減量、中止の有無とSVR: 著効率(判定不能・drop out22例を含む)**

リバビリンの投与状況	著効症例数/対象症例 (SVR率)	年齢 平均±SD	60歳以上の比率	性差	
				男	女
減量、中止なし	50 / 197 (25%)	53.9±9.9	66 / 197 (34%)	133	64
減量するも6カ月投与	20 / 77 (26%)	57.8±10.2	38 / 77 (49%)	42	35
6カ月以内に投与中止	8 / 79 (10%)	59.3±8.9	45 / 79 (57%)	40	39
合計	78 / 353 (22%)				

H Yatsunami, 長崎医療センター

